



2012年8月9日

2012年12月期 中間決算概況

会社名 サントリーホールディングス株式会社
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智

URL <http://www.suntory.co.jp>

広報部 TEL (03)5579-1150
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 2012年6月中間期の連結業績(2012年1月1日～2012年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年6月中間期	870,082	4.4	38,028	△25.0	36,509	△24.6
2011年6月中間期	833,179	2.5	50,676	23.4	48,441	27.9
2011年12月期	1,802,791	3.5	114,161	7.0	109,026	8.1

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
2012年6月中間期	12,763	△62.0	18	74	18	73
2011年6月中間期	33,557	149.6	49	05	49	03
2011年12月期	62,614	56.4	91	71	91	68

(参考) 持分法投資損益 2012年6月中間期 222百万円 2011年6月中間期 △44百万円 2011年12月期 122百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2012年6月中間期	1,683,027	488,337	27.4	676 29
2011年6月中間期	1,657,909	484,010	27.7	676 27
2011年12月期	1,730,175	483,557	26.4	669 92

(参考) 自己資本 2012年6月中間期 460,710百万円 2011年6月中間期 460,058百万円 2011年12月期 456,375百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2012年6月中間期	34,214	△33,896	△64,007	224,937
2011年6月中間期	46,527	△43,676	26,380	189,032
2011年12月期	143,053	△79,787	66,931	288,126

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2011年12月期	—	12 00	12 00

(注) 2011年12月期配当の内訳 普通配当10円 特別配当2円

3. 2012年12月期の連結業績予想(2012年1月1日～2012年12月31日)

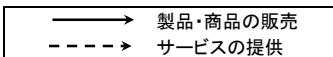
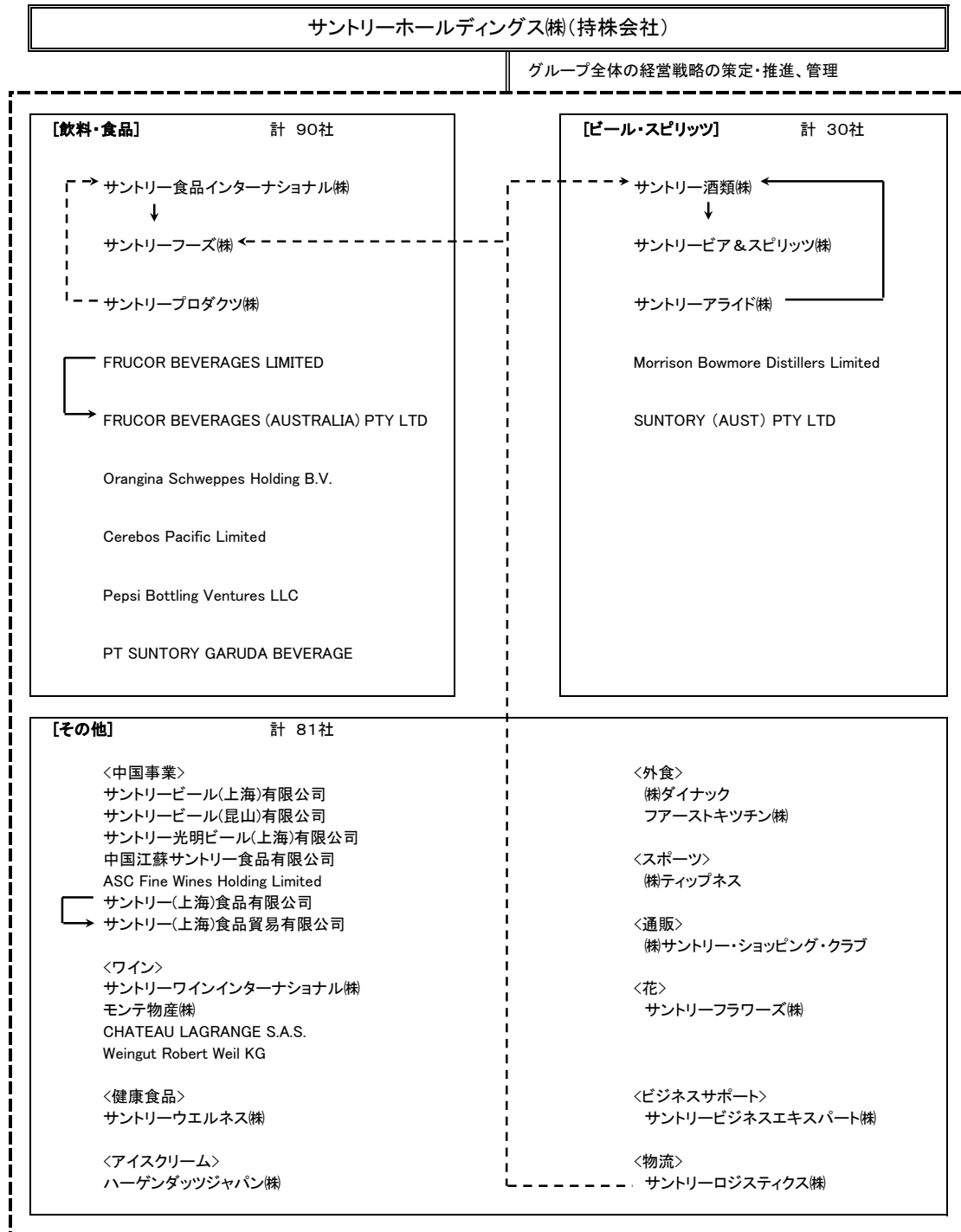
(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,866,000	3.5	116,000	1.6	111,000	1.8	43,000	△31.3	63 12	

事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社175社および関連会社26社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産㈱



- (注) 1. サントリービジネスエキスパート㈱は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。
 2. ※は親会社です。
 3. 無印は連結子会社です。

経営成績

1. 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間の経済は、世界的に景気の減速感が広がる中、わが国においてもデフレ状況が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。清涼飲料・酒類市場も、各カテゴリーで競争が一層激化するなど、厳しい環境となりました。

こうした中、サントリーグループは、「ザ・プレミアム・モルツ」など主要ブランドのマーケティング活動の強化に加え、「オレンジーナ」の日本発売をはじめとするグループ間シナジーの実現、また新市場における需要の創造や新たな飲用スタイルの提案など、積極的な取り組みを展開しました。その結果、2012年6月期の業績は、過去最高の売上高8,701億円(前年同期比104.4%)となりました。利益については、前期の会計処理上の特殊要因の影響や、積極的なマーケティング投資の影響により、営業利益は380億円(前年同期比75.0%)、経常利益は365億円(同75.4%)、中間純利益は128億円(同38.0%)となりました。

〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、既存ビジネスにおけるコアブランドの強化とグループ間シナジーの実現、さらに新たな需要開拓を推進し、国内外において成長を図りました。

国内事業は、清涼飲料総市場が前年同期比105%と推定される中、1億8,157万ケース(前年同期比106%)となりました。「BOSS」は、主力4商品(「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」)が牽引し前年同期比110%、また「伊右衛門」も同108%と極めて好調に推移しました。「サントリー天然水」は、東日本大震災の影響で需要が拡大した昨年を上回り、前年同期比105%となりました。また、サントリーグループの海外の清涼飲料ブランドとして初めて、「オレンジーナ」を日本に導入しました。同商品は、3月の発売後3ヶ月で年間計画の2倍にあたる400万ケースの販売を達成しました。

海外事業では、オセアニア地域で清涼飲料を製造・販売するフルコア Frucor Groupが堅調に推移しました。欧州で強い基盤を持つオランジーナ シュウェッペス Orangina Schweppes Groupは、欧州の市況悪化などの影響を受ける中、コアブランド強化のためのマーケティング活動を展開しました。アジアでは、ナラン Santory Narang Groupとの合併会社Santory Narang Private Limitedが事業を開始し、インドでの事業基盤を確立しました。

以上の結果、飲料・食品セグメントの売上高は、4,641億円(前年同期比101.4%)となりました。

〈ビール・スピリッツセグメント〉

サントリー酒類(株)は、主要ブランドの活動強化や新価値商品の投入に加え、ノンアルコール飲料の拡充や新たな飲用スタイルの提案を行ったほか、海外におけるビジネス基盤の強化を図りました。

ビール事業は、3,147万ケース^{※1,2}(前年同期比110.1%)の販売を達成しました。また、当社ビール類のシェアは14.5%(課税数量ベース)で、過去最高となりました。3月にリニューアルした「ザ・プレミアム・モルツ」は、ブランド力の向上とお客様との接点拡大を図り、717万

ケース(前年同期比115.4%)と極めて好調に推移しました。新ジャンル商品「金麦」は、1,219万ケース(前年同期比107.6%)、ノンアルコールビールテイスト飲料NO.1ブランド^{※3}「オールフリー」も、270万ケース(前年同期比123.5%)と大きく伸長しました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料含む

※2 大瓶換算(1ケース=633ml×20本)

※3 インテージ MAI 調べ ノンアルコールビールテイスト飲料

2011年1月～12月累計販売金額(全国スーパーマーケット/CVS/酒DS計)

スピリッツ事業は、積極的に価値提案を行うことで、ウイスキーやRTDが伸長し、前年同期比107%の売上となりました。

ウイスキーは、「角瓶」「山崎」「白州」など主要ブランドが好調に推移し、前年同期比103%となりました。「角瓶」は、前年同期比113%と引き続き好調に推移しました。プレミアムウイスキーは、5月に発売した「山崎」「白州」の新商品が、20-30代を中心に新たなユーザーを獲得し、大きく伸長しました。輸入ウイスキーは、「ザ・マッカラン」「バランタイン」などが好調で前年同期比102%となりました。また国際コンペティションで「山崎」が「World's Best Single Malt Whisky」を2年連続受賞するなど、海外における当社プレミアムウイスキーに対する評価がさらに高まりました。

RTDは、総市場が前年同期比107%と推定される中、同108%となりました。「-196℃ ストロングゼロ」が前年同期比128%と極めて好調に推移したほか、「ほろよい」が引き続き伸長しました。また、当社ハイボール缶計の販売数量も前年同期比119%となり、ハイボール缶市場を牽引しました。

ノンアルコール飲料では、カクテルテイスト・チューハイテイストの「のんある気分」が5月に、梅酒テイストの「まるで梅酒なノンアルコール」が6月に年間計画を大幅に上方修正するなど好調な販売を続け、市場を牽引しました。

焼酎は、総市場が前年同期比98%と推定される中、同103%となりました。1月にリニューアルした「鏡月」が伸長したほか、甲乙混和焼酎「むぎのか」が同127%と大きく伸長しました。

海外では、欧米を中心にプレミアムウイスキー「響」「山崎」「白州」の積極的なマーケティング活動を展開するなど、海外における当社ウイスキーのさらなる浸透に取り組みました。また、シングルモルトウイスキー「ボウモア」をグローバルに展開する^{モリソン ボウモア}Morrison Bowmore Distillers Limitedが売上を拡大しました。

以上の結果、ビール・スピリッツセグメントの売上高は、2,560億円(前年同期比108.8%)となりました。

〈その他セグメント〉

サントリー(中国)ホールディングス有限公司は、前年同期比110%の売上となりました。ビール事業では、プレミアム価格帯の「純生」やスタンダード価格帯の「超純」が伸長、飲料事業では、^{リッチ}コーヒー飲料「リッチ」、^{ピンピン}フルーツフレーバー飲料「冰冰」や新商品^{ミューズ}「蜜香清柚」が好調に推移しました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業の販売数量は、前年同期比111%と伸長しました。なかでも、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”が前年同期比217%、「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」が同133%と大きく伸長しました。輸入ワインでは、氷を入れて楽しむ飲用スタイル“ロッシ ロック”が好評の「カルロ ロッシ」が、前年同期比118%と引き続き好調に推移しました。

サントリーウエルネス(株)は、主力の「セサミンE」シリーズが堅調に推移したほか、「グルコサミン&コンドロイチン」が牽引し、前年同期比108%の売上となりました。

外食事業は、(株)プロントコーポレーションや井筒まい泉(株)が好調に推移し、前年同期比104%の売上となりました。

ハーゲンダッツジャパン(株)は、ミニカップ基幹商品が好調に推移、さらに「チョコレートブラウニー」など新商品もご好評いただき、前年同期比111%の売上となりました。

以上の結果、その他セグメントの売上高は、1,500億円(前年同期比106.9%)となりました。

なお、国内売上高は6,875億円(前年同期比107.9%)、海外売上高は1,826億円(同93.2%)となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んでいます。また『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災の復興支援活動では、昨年決定した総額43億円の震災復興支援の一環として、水産高校を対象とした奨学金プログラムなどを開始しました。さらに、岩手県・宮城県の漁業復興のための支援として、20億円の追加拠出を決定しました。

環境に配慮した容器包装の取り組みとして、メカニカルリサイクルによる再生PET樹脂を100%使用した“リペットボトル”を実用化、さらに世界最薄のシュリンクラベルを開発するなど、省資源化を図りました。また、サントリー「天然水の森」については、科学的な知見を取り入れながら、より質の高い水源涵養活動を展開しました。

2.通期の見通し

2012年12月期の売上高は、1兆8,660億円(前年同期比103.5%)、営業利益1,160億円(同101.6%)、経常利益1,110億円(同101.8%)、当期純利益430億円(同68.7%)を予定しています。

なお、事業セグメント別の売上高は、飲料・食品セグメント1兆89億円(前年同期比103.9%)、ビール・スピリッツセグメント5,449億円(同104.0%)、その他セグメント3,122億円(同101.2%)を予定しています。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2011年12月31日現在)		当中間連結会計期間末 (2012年6月30日現在)		増 減	前中間連結会計期間末 (2011年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
I 流動資産	772,293	44.6	760,878	45.2	△11,415	674,064	40.7
現金及び預金	288,134		224,952		△63,181	189,295	
受取手形及び売掛金	249,785		262,020		12,234	227,430	
たな卸資産	171,869		195,088		23,219	190,726	
その他	63,453		79,770		16,317	67,568	
貸倒引当金	△949		△954		△4	△956	
II 固定資産	957,082	55.4	921,499	54.8	△35,582	982,866	59.3
1.有形固定資産	393,024		399,085		6,061	396,408	
建物及び構築物	125,975		125,580		△395	129,646	
機械装置及び運搬具	100,804		105,679		4,875	99,135	
工具、器具及び備品	58,997		60,146		1,148	58,527	
土地	83,175		83,229		54	85,074	
その他	24,071		24,450		378	24,025	
2.無形固定資産	366,016		353,348		△12,668	402,803	
のれん	342,390		329,405		△12,984	387,404	
その他	23,625		23,942		316	15,398	
3.投資その他の資産	198,041		169,065		△28,975	183,654	
投資有価証券	92,825		93,672		846	95,292	
その他	109,536		78,435		△31,100	92,880	
貸倒引当金	△4,320		△3,041		1,278	△4,518	
III 繰延資産	800	0.0	649	0.0	△150	978	0.0
資産合計	1,730,175	100.0	1,683,027	100.0	△47,148	1,657,909	100.0

(注)

有形固定資産に対する減価償却累計額	638,607	648,425	9,817	636,987
-------------------	---------	---------	-------	---------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2011年12月31日現在)		当中間連結会計期間末 (2012年6月30日現在)		増 減	前中間連結会計期間末 (2011年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(負 債 の 部)		%		%			%
I 流 動 負 債	589,304	34.1	558,951	33.2	△30,353	574,297	34.6
支払手形及び買掛金	81,618		89,197		7,578	87,790	
電子記録債務	100,745		109,023		8,278	96,001	
短期借入金	79,214		69,218		△9,996	93,982	
1年内償還予定の社債	45,000		15,000		△30,000	31,010	
未払酒税	44,527		42,269		△2,257	26,505	
未払消費税等	8,658		8,442		△215	5,889	
未払法人税等	19,331		8,935		△10,395	14,762	
未払金	95,478		98,878		3,399	87,428	
未払費用	55,664		62,267		6,602	58,228	
賞与引当金	8,984		9,049		65	8,809	
その他	50,082		46,669		△3,412	63,888	
II 固 定 負 債	657,313	38.0	635,738	37.8	△21,575	599,602	36.2
社 債	186,050		185,941		△109	201,947	
長期借入金	352,645		340,229		△12,416	291,929	
退職給付引当金	10,710		10,860		150	10,913	
役員退職慰労引当金	355		333		△21	412	
その他	107,551		98,373		△9,178	94,399	
負債合計	1,246,618	72.1	1,194,690	71.0	△51,928	1,173,899	70.8
(純 資 産 の 部)							
I 株 主 資 本	515,340	29.7	519,928	30.9	4,588	485,651	29.3
資本金	70,000		70,000		—	70,000	
利益剰余金	449,352		453,941		4,588	420,309	
自己株式	△4,012		△4,012		—	△4,658	
II その他の包括利益累計額	△58,964	△3.4	△59,218	△3.5	△253	△25,593	△1.5
その他有価証券 評価差額金	7,572		7,762		190	8,456	
繰延ヘッジ損益	△31		283		314	△243	
為替換算調整勘定	△66,506		△67,264		△758	△33,806	
III 新株予約権	50	0.0	51	0.0	0	38	0.0
IV 少数株主持分	27,130	1.6	27,575	1.6	444	23,912	1.4
純資産合計	483,557	27.9	488,337	29.0	4,780	484,010	29.2
負債純資産合計	1,730,175	100.0	1,683,027	100.0	△47,148	1,657,909	100.0

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増 減	前連結会計年度	
	〔 自 2011年1月 1日 至 2011年6月30日 〕		〔 自 2012年1月 1日 至 2012年6月30日 〕			〔 自 2011年 1月 1日 至 2011年12月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
I 売 上 高	833,179	100.0	870,082	100.0	36,902	1,802,791	100.0
II 売 上 原 価	412,201	49.5	432,651	49.7	20,449	898,223	49.8
売 上 総 利 益	420,978	50.5	437,431	50.3	16,452	904,568	50.2
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	370,302	44.4	399,402	45.9	29,100	790,406	43.9
営 業 利 益	50,676	6.1	38,028	4.4	△12,647	114,161	6.3
IV 営 業 外 収 益	2,383	0.3	3,387	0.4	1,004	4,392	0.2
受 取 利 息	419		490		70	914	
受 取 配 当 金	1,182		1,332		150	1,813	
為 替 差 益	160		534		374	226	
雑 収 入	620		1,029		408	1,437	
V 営 業 外 費 用	4,617	0.6	4,906	0.6	288	9,527	0.5
支 払 利 息	3,939		4,221		281	7,916	
雑 支 出	678		685		6	1,611	
経 常 利 益	48,441	5.8	36,509	4.2	△11,931	109,026	6.0
VI 特 別 利 益	1,174	0.1	1,002	0.1	△172	4,513	0.3
投 資 有 価 証 券 売 却 益	590		421		△169	1,545	
受 取 補 償 金	—		260		260	1,042	
そ の 他	584		320		△264	1,925	
VII 特 別 損 失	12,823	1.5	4,315	0.5	△8,507	20,842	1.2
固 定 資 産 廃 棄 損	1,730		1,933		202	4,351	
震 災 関 連 費 用	5,635		1,579		△4,055	6,509	
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	2,614		—		△2,614	2,623	
そ の 他	2,842		802		△2,040	7,358	
税金等調整前中間(当期)純利益	36,793	4.4	33,196	3.8	△3,596	92,697	5.1
法人税、住民税及び事業税	607	0.1	10,718	1.2	10,111	37,865	2.1
法人税等調整額	—	—	6,703	0.8	6,703	△14,392	△0.8
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益	36,185	4.3	15,775	1.8	△20,410	69,223	3.8
少数株主利益	2,628	0.3	3,012	0.3	383	6,609	0.3
中間(当期)純利益	33,557	4.0	12,763	1.5	△20,794	62,614	3.5

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	〔自 2011年1月1日〕 〔至 2011年6月30日〕	〔自 2012年1月1日〕 〔至 2012年6月30日〕	〔自 2011年1月1日〕 〔至 2011年12月31日〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	36,793	33,196	92,697
減価償却費	24,521	26,079	50,174
のれん償却額	10,831	10,486	21,278
受取利息及び受取配当金	△1,602	△1,822	△2,728
支払利息	3,939	4,221	7,916
固定資産廃棄損	1,730	1,933	4,351
売上債権の増減額(△は増加)	15,892	△12,073	△8,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,880	△22,776	△10,305
仕入債務の増減額(△は減少)	△803	12,364	△1,670
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,582	△2,392	2,266
その他	21,691	7,997	26,189
小計	68,532	57,214	182,003
利息及び配当金の受取額	1,677	1,839	3,328
利息の支払額	△3,056	△4,327	△8,056
法人税等の支払額	△20,626	△20,512	△34,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,527	34,214	143,053
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形及び無形固定資産の取得による支出	△25,558	△33,344	△57,109
有形及び無形固定資産の売却による収入	781	321	2,876
投資有価証券の取得による支出	△3,447	△1,072	△4,158
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,568	154	6,407
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△14,260	—	△25,222
その他	△2,758	44	△2,581
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,676	△33,896	△79,787
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマース・ペーパーの増減額 (△は減少)	903	2,014	△7,283
長期借入れによる収入	45,273	1,140	145,928
長期借入金の返済による支出	△26,695	△24,843	△74,474
長期預け金の減少額	1,701	—	1,673
社債の発行による収入	21,395	—	21,387
社債の償還による支出	△658	△30,000	△1,646
リース債務の返済による支出	△1,278	△1,293	△2,462
配当金の支払額	△6,184	△8,174	△6,184
少数株主への配当金の支払額	△3,696	△2,977	△6,242
その他	△4,380	126	△3,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,380	△64,007	66,931
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	756	500	△1,195
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,988	△63,188	129,001
VI 現金及び現金同等物の期首残高	159,044	288,126	159,044
VII 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	80
VIII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	189,032	224,937	288,126

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入しており、持株会社である当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱い製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「飲料・食品事業」、「ビール・スピリッツ事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品……………清涼飲料、健康飲料、加工食品 他
 ビール・スピリッツ……………ビール類、ウイスキー、焼酎、RTD 他
 その他……………中国事業、ワイン、健康食品、アイスクリーム、外食、スポーツ、花 他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2011年1月1日 至 2011年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	457,489	235,407	140,283	833,179	—	833,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,045	1,054	5,258	9,358	△ 9,358	—
計	460,535	236,461	145,541	842,538	△ 9,358	833,179
セグメント利益	42,493	12,394	10,485	65,373	△ 14,697	50,676

当中間連結会計期間(自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	464,076	256,005	149,999	870,082	—	870,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,954	1,132	6,619	10,706	△ 10,706	—
計	467,030	257,138	156,618	880,788	△ 10,706	870,082
セグメント利益	30,510	9,388	12,897	52,797	△ 14,769	38,028

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。